

山陽小野田市立竜王中学校 学校だより

礼 節 和 親

令和7年度 No13 令和7年11月10日発行

いゅうみんネット学校教育目標

誇りと志をもち、自ら学び考動し、
たくましく生き抜く児童生徒の育成



[https:// sites.google.com/edu.cty-so.jp/ryuohjhs](https://sites.google.com/edu.cty-so.jp/ryuohjhs)

☎ 88-0198

創心前進～仲間と描く青春の一枚～

体育祭同様、実行委員を中心に生徒が自分たちの手で作り上げた文化祭となりました。

合唱コンクールでは、多くの観客の前でスポットライトの光を浴びて緊張したと思いますが、一緒に練習してきたクラスメイトを信じて、どのクラスも素晴らしいハーモニーを奏でていました。審査委員長をされた赤崎小学校の高良 哲也校長先生から「歌詞の意味をしっかりとらえ、丁寧に歌っている姿が印象的でした。クラスで協力して一生懸命練習したことが伝わってくる合唱でした。」などのお言葉をいただきました。

ゴールデングランプリは3年1組、準グランプリは3年2組が受賞し、この2クラスは不二輸送機ホールで行われた市の音楽祭で学校代表として参加しました。

今年も総合的な学習の時間で探究してきたことを全学年で発表しました。フィールドワークや実験等を行い、相手に伝わるようにポスターやスライドを工夫するなど、時間をかけて準備をし、本番に臨みました。発表後は「うなずきながら発表を聞いてもらってうれしかった」、「楽しく学べるようにクイズを出したらみんな楽しんでくれた」などの声が聞こえており、大きな達成感を得た表情が見られました。



3年1組「あなたへー旅立ちに寄せるメッセージ」



3年2組「友よ」



総合の発表 1年



2年



3年

ハートフルデイ～人権教育参観日・講演会～

1年生は多目的スペース、2年生はサブアリーナ、3年生は各教室で道德の授業を行いました。ものには様々な見方があること、他者を尊重することや自分のありのままを認め個性を伸ばしていくことの大切さ、いじめを許さず誰に対しても公平に接することの大切さを学びました。



【1年生：見方を変えよう】 【2年生：リスペクト・アザーズ】 【3年生：卒業文集最後の二行】

授業の後は、鷹鳥屋神社宮司矢野大和様を講師にお迎えして講演会を開催しました。『笑って元気！必要とされる喜び』という演題で、まずは肯定から入ること、笑顔で挨拶することからコミュニケーションが始まること、人は人から元気をもらうことなどをユーモアも交えながら熱く語ってくださいました。

〔生徒の感想〕

・「今ここにいるということは、だれかに愛されたこと」という言葉がとても心に残りました。理由は、自分もここにいるし、必ずだれかに愛されて、生きる力をもらったということがとてもうれしかったからです。ぼくは家に帰ったら、お父さんとお母さんに「ありがとう」をすぐに伝えたいと思いました。

・自分の得意なことを見つけ、それで誰かのことを笑顔にできるような人になりたいと思いました。人によって考え方も見た目もちがうけれど、人は人から元気をもらっているから、一人ひとりを大切にしていかなければならないと感じました。



地域で育つ竜中生

秋は地域で多くの行事が開催されています。竜王中学校の生徒は、自分で仕事を見つけ、積極的に活動しています。



【赤崎児童館まつり】



【本山地区防災訓練】